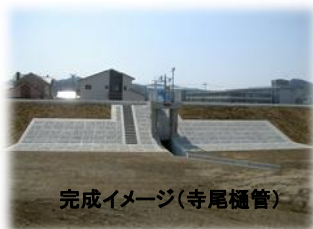


地域力発信！ 群馬を支える人達 ～現場編～

石原第二樋管新設工事(烏川)



施工場所: 高崎市片岡町地先
工期: 平成26年3月～平成27年3月
施工者: 岩井土建株式会社

浸水から街を守るために



樋管とは？

堤防の中にゲートを設けたコンクリート水路をつくり居住地に降った雨水などを川に流すために設置するものです。通常時は、ゲートを開けてますが、台風等による洪水により川の水位が高くなった際には、ゲートを閉めてその水が居住地に逆流しないようにしています。

現場代理人・主任技術者のProfile



現場代理人: 星野さん

- ・入社27年目。
- ・高校が土木の学校、物を作るのが好きで、先生の勧めもあり建設業界へ。
- ・何もない所から工事が始まるのとは違い、堤防を掘っているの、安全対策により気をつけてます。



主任技術者: 加部さん

- ・入社32年目
- ・小さい頃は大工さんになりたかったそうですが、高校で土木を学び建設業界へ。
- ・楽しいこと、辛いことなど沢山経験しましたが、やりがいのある仕事だと感じています。

現場の工夫と安全管理(プロの目が光ります)



- ①地域の声を現場に反映(工事がはじまってやりながら気づくことも多くあります。)
⇒ 現場付近の天端に一般の方が工事現場を見られるスペースを設け、周辺住民の方の声が聞こえるよう意見箱を設置。
- ②ちょっとした工夫が現場の安全管理へ繋がります。
⇒ 隣接地がサッカーグラウンドで週末に子供達が利用するため、ボールが現場に入ってしまうのを、通常より高いフェンスを設置。
- ③現場安全意識をより高めるために
⇒ 施工業者(元請・下請)の持ち回りで「現場安全標語」を作成し、KYと併せて掲示。

最後に...

現場にはバックホウなどの重機が何台もあり、工事の規模の大きさに驚きました。

河川の工事は他の工事とは異なり、梅雨、台風の無い時期に行うと聞き、短い工期のなかで完成させるのは大変だと感じました。また、一般の方が工事現場を見られるスペースが設けてあり、周辺住民の方も工事の様子を知ることが出来るので、とても良いスペースだと思いました。

(担当: 鈴木、伊藤)